

□主な内容

【EST推進地域・団体の登録開始】

EST普及推進委員会は、「ESTを目指して、環境改善目標を伴った交通環境対策を推進すること」を誓う松山市、出雲市、千歳市、倉敷市をEST推進地域として登録しました。

【カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA】

日本国内やアジア各国のカーフリーデーの取組状況と都市交通政策等を報告し、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーが目指すものを議論する会議が横浜で開催されます。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 22 回)

●「地方都市の温暖化対策、公共交通は3倍必要」

【路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)会長
全国路面電車ネットワーク運営委員長 岡将男】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 22 回)

●「人にも地域にも地球にもやさしい『環境交通のまち・あらかわ』の実現に向けて」

【荒川区環境清掃部環境政策担当課長 山本吉毅】

3. ニュース／トピック

●松山市、出雲市、千歳市、倉敷市をEST推進地域・団体として登録

【EST普及推進委員会】

●小学校において交通環境学習を実施される自治体を募集します

【交通エコロジー・モビリティ財団】

●平成 19 年度国土交通白書について【国土交通省】

●第7回「日本鉄道賞」の募集について【国土交通省】

●平成 20 年度エコドライブコンテストの参加受付の開始【環境省・環境再生保全機構】

●奈良公園周辺に臨時無料駐車場を開設【奈良県】

●2010 年に向けた電気自動車プロジェクトの開始に合意【日産自動車、神奈川県】

●「東急線運行情報メール」を開始します【東京急行電鉄、東急カード】

●携帯電話を対象に「列車運行情報メール配信サービス」を開始します【名古屋鉄道】

●4/24Suica・PASMO の電子マネー利用件数が100万件を突破しました【東日本旅客鉄道、PASMO 協議会、パスモ】

- 「首都高 X(仮称)」に電子マネー”Edy”を採用します【首都高速道路】
- プリウスの累計販売台数が 100 万台を突破【トヨタ自動車】
- 日産自動車と NEC の合併会社、AESC が高性能リチウムイオン電池の事業化を決定
【日産自動車、NEC、NEC トーキン】
- 携帯総合ナビ「全力案内！」で「リアルタイム・プローブ交通情報」を提供開始
【ユビーリンク】

4. イベント情報

- カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA【2008/5/30】
- カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)による課題別ワークショップ【2008/5/30】
- 道路財源問題を考えるシンポジウム 市民が提案! 持続可能な交通と財政改革
【2008/5/31】
- エコカーワールド 2008 in 横浜【2008/6/7,8】
- エコライフ・フェア 2008【2008/6/7,8】
- 特別セミナー 中小企業の CO2 削減と国内 CDM 制度について【2008/6/18】
- 2008 年度交通権学会研究大会【2008/7/27,28】

5. その他

- 「ESTデータベース」を拡充
- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 22 回)

- 「地方都市の温暖化対策、公共交通は3倍必要」

【路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)会長
全国路面電車ネットワーク運営委員長 岡将男】

LRT 導入のためにはバスの活性化が必要だと、我々はバスマップを製作する取り組みをしてきました。2050 年までに 50%削減のロードマップを作らないと、LRT 導入は進まない。しかし岡山地域の PT 調査は 1994 年が最新です。そこで雑駁だが現状の自動車分担率を 70% (前回 56.4%) 公共交通を 5%(同 5.9%)として、仮に自動車分担率を 20%落とし、その分を公共交通に 10%、二輪車と徒歩に 10%移行させるとして計算してみました。(徒歩二輪車 0 公共交通 1 自動車 5)

2007 年の排出量は 徒歩自転車 0 公共交通 5 自動車 350 合計 355

2050 年の排出量は 徒歩自転車 0 公共交通 15 自動車 250 合計 265

自動車交通を 20%削減し、公共交通を 3 倍、二輪車徒歩を大幅に増加させ、自動車の燃費を 65%にすれば 162.5 となり 355 の丁度半分の 177.5。不思議にきれいに合ったのです。

これを達成するには、自動車産業の売上減少は不可避ですが、ハイブリット車・小型車を推奨し、道路建設も抑制するしかない。産業構造の大転換が必要です。反対にピークの

1/4に減少したバスを激増させ、鉄道の廃止などをもってのほか。LRTも全国で2,500kmは、建設できるでしょう。そこでRACDAはLRT推進団体ですが、地方鉄道存続を援助するだけでなく、全国のバス停に屋根とベンチを設置するという「バス停アダプト運動」や自転車通勤プロジェクトを立ち上げることにしたのです。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第22回)

●「人にも地域にも地球にもやさしい『環境交通のまち・あらかわ』の実現に向けて」

【荒川区環境清掃部環境政策担当課長 山本吉毅】

平成19年3月に策定しました荒川区基本構想では、区の目指す将来像を「幸福実感都市あらかわ」とし、区民が、将来にわたり幸せを実感できる荒川区となるよう、区政運営に取り組み、この基本構想において、環境問題への取組を区政の重要な柱と位置付け、区の将来像を構成する六つの都市像の一つに「環境先進都市」を掲げています。

荒川区の目指す「環境交通」は、歩いて楽しいまちづくりや公共交通の利用を促進し、クルマに頼り過ぎない暮らしをすることで、CO₂の削減や区民の健康づくりをすすめ、ひいては、まちの賑わいを創出するものです。

この取組は、将来にわたり持続可能で豊かなまちを創る政策の一つであり、都電荒川線をはじめ、鉄道やバスなどの公共交通網が充実し、人と人とのふれあいを大切にする下町人情が息づく、本区ならではの環境政策であると考えます。

区では、本年2月に、地球温暖化やエネルギー問題に対応するため、生活に不可欠な「交通」に、環境の側面から総合的に取り組む「環境交通 省エネルギー詳細ビジョン」を策定いたしました。本ビジョンは、家庭や事業所で使用する乗用車やトラックなどから構成する「運輸部門」を対象として、省エネルギー対策を計画的・継続的に推進する道筋を明らかにしたものです。

平成20年度は、区運輸部門から排出されるCO₂を対前年度比で1%削減する目標を達成するため、本ビジョンで定めた具体的な施策のなかでも、区民の受容性が高く、区外へ広く発信できる先進的取組の中で、実現性の高い施策である3つの施策「エコドライブの促進」「カーシェアリングの導入支援」「モビリティ・マネジメントの実施」を「重点施策」と位置付け、集中的に取り組めます。

3. ニュース／トピック

●松山市、出雲市、千歳市、倉敷市をEST推進地域・団体として登録

【EST普及推進委員会】

EST普及推進委員会は、今年度より、「ESTを目指して、環境改善目標を伴った交通環境対策を推進すること」を誓う地方自治体を登録する制度を開始しました。この度、申

請の中から、松山市、出雲市、千歳市、倉敷市をEST推進地域として登録しました。詳しくは、以下のURLをご参照いただくとともに、皆様からのご応募をお待ちしております。

http://www.estfukyu.jp/chikidantai_goshokai.html

●小学校において交通環境学習を実施される自治体を募集します

【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団では、小学校において交通環境学習を実施される自治体への支援を行っています(期限:6月20日まで)。詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/general/newsrelease/20080521.html>

●平成19年度国土交通白書について【国土交通省】

平成19年度国土交通白書が、5月9日の閣議において配布・公表されました。本書の第1部では、「進行する地球温暖化とわたしたちの暮らし」をテーマとして取り上げ、地球温暖化の暮らしへの影響や、暮らしの中での対策の課題等をわかりやすく示すことを目指しています。その際、長期にわたって地球温暖化対策を続けるという観点から、暮らしの質をできる限り犠牲にすることなく、地球環境にもやさしい暮らし方をするという観点も重視しています。

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/index.html>

●第7回「日本鉄道賞」の募集について【国土交通省】

「鉄道の日」実行委員会では、昨年度に続いて本年度も「日本鉄道賞」を募集することとしました。「日本鉄道賞」は、「鉄道の日」創設の趣旨である「鉄道に対する国民の理解と関心」をさらに深めるとともに、鉄道の今後一層の発展を期することを目的として、平成14年に創設されたものです。他の先例となるような「新しい鉄道サービスの提供」、「新しい技術の開発」、「地域一体となった取り組み」や「国際的な取組」等の様々な観点から取り組まれた方々からの応募を受け付けています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo06_hh_000004.html

●平成20年度エコドライブコンテストの参加受付の開始【環境省・環境再生保全機構】

環境省・環境再生保全機構では、平成20年度エコドライブコンテストを開催します。本コンテストでは、エコドライブ活動が全国に普及することを目的とし、自動車を運転するドライバーとその自動車を保有する企業の協働によって、大気汚染の防止を継続的に推進することを目指しています。本コンテストを通じて、運送業のほか自動車を使用する各種事業者において、エコドライブを社内体制として取り入れる事業者を増やし、運輸部門における二酸化炭素排出量の低減を促進することを狙いとしています。

<http://www.ecodrivejp.com/contest2008/contest/index.html>

●奈良公園周辺に臨時無料駐車場を開設【奈良県】

奈良市及び奈良県では、春の観光シーズンにおける奈良公園周辺の交通渋滞を緩和するため、パークアンドライドを実施します。なお、現在奈良市内では、JR奈良駅付近連続立体交差事業の一環である、跨線橋撤去工事を行っており、工事箇所周辺での交通渋滞対策として実施しているパークアンドライドについても、一部の駐車場を除き引き続き実施します。

<http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/topics/pandr/index.htm>

●2010年に向けた電気自動車プロジェクトの開始に合意【日産自動車、神奈川県】

日産自動車株式会社、および神奈川県は19日、同県において2010年から開始する本格的な電気自動車試験プロジェクトについて、実行可能性に関する検討を開始することに合意しました。神奈川県の松沢知事は、「神奈川県は、産学公と連携して、2014年度までに県内3,000台の電気自動車の普及を旨とすこととし、この4月、電気自動車購入時の補助金などの優遇策（「EVイニシアティブかながわ」）を発表したところである。日産自動車との共同検討は、これまでの産学の取り組みにさらに弾みがつくものであり、電気自動車普及の「かながわモデル」を成功させ、全国、そして世界に発信していきたい。」と語りました。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2008/_STORY/080519-02-j.html

●「東急線運行情報メール」を開始します【東京急行電鉄、東急カード】

東京急行電鉄と東急カードは、2008年5月27日（火）、東急各線の運行情報をメールで配信するサービス「東急線運行情報メール」を開始します。「東急線運行情報メール」は、東急各線で遅延や運転見合わせなどが発生した場合に、あらかじめ登録されたお客様の携帯電話に運行情報の第一報をメールでお知らせするものです。

http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/080519.pdf

●携帯電話を対象に「列車運行情報メール配信サービス」を開始します【名古屋鉄道】

名古屋鉄道は、鉄道サービス向上の一環として、列車運行に乱れが生じている場合などに、携帯電話へメールを配信する「列車運行情報メール配信サービス」を5月15日（木）から開始します。同メール配信サービスは、事前に登録された携帯電話に対し、遅延等の発生時及び運転見合わせなどが解消された場合の計2回、「名鉄ナビ」に運行情報が掲出されたことについてメールで通知するものです。これにより、常に持ち歩くことの多い携帯電話により、列車運行情報をタイムリーに取得することができます。

http://www.meitetsu.co.jp/profile/news/2008/1185500_1140.html

●4/24Suica・PASMOの電子マネー利用件数が100万件を突破しました【東日本旅客鉄道、PASMO協議会、パスモ】

交通系 IC カードである Suica・PASMO の1日あたりの電子マネー利用件数が、4月23日に100万件(4月23日現在 約101万件)を突破しました。Suica 電子マネーは、2004年3月のサービス開始以来、駅ナカや街ナカの店舗や飲料自動販売機、タクシーなどに利用可能箇所を広げてきましたが、今年4月よりJR東日本の東北・上越・長野・山形・秋田の各新幹線や特急列車の車内販売でも利用いただけるようになりました。

<http://www.pasmo.co.jp/corporate/press/pdf/080424.pdf>

●「首都高 X(仮称)」に電子マネー”Edy”を採用します【首都高速道路】

首都高速道路の ETC 利用率が、本年4月に月間平均でも初めて80%を超えました。ETCの普及促進と並行して、ETCを取り付けないお客様に対し、ETCを付けなくても距離別料金を適用できるシステム(「首都高 X(仮称)」)の準備も進めているところです。この度、「首都高 X(仮称)」に採用する電子マネーに、ビットワレット株式会社が運営する電子マネー”Edy”を採用することとしました。

<http://www.shutoko.jp/company/press/h20/0515.html>

●プリウスの累計販売台数が100万台を突破【トヨタ自動車】

トヨタ自動車は、全世界での「プリウス」の累計販売台数が、本年4月末までに約102万8千台と、100万台を突破したと発表しました。トヨタは、1997年に世界初の量産型ハイブリッド乗用車「プリウス」を発売し、2000年からは、北米や欧州など海外でも販売を開始しました。また、2005年からは中国長春工場において海外生産を開始しており、2009年後半からは韓国での販売も予定しています。現在では日本をはじめ、北米を中心に世界で40以上の国・地域で好調な販売を続けています。

http://www.toyota.co.jp/jp/news/08/May/nt08_032.html

●日産自動車と NEC の合弁会社、AESC が高性能リチウムイオン電池の事業化を決定
【日産自動車、NEC、NEC トーキン】

日産自動車株式会社、日本電気株式会社、および NEC トーキン株式会社は5月19日、三社間の合弁会社である「オートモーティブエナジーサプライ株式会社(AESC)」による自動車向け高性能リチウムイオン電池の事業化を決定しました。AESCは、次世代の電動自動車を対象とした、リチウムイオン電池の開発およびマーケティングに取り組んでいます。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2008/_STORY/080519-01-j.html

●携帯総合ナビ「全力案内！」で「リアルタイム・プローブ交通情報」を提供開始

【ユビーリンク】

株式会社ユビーリンクは、携帯総合ナビゲーションサービス「全力案内！」内の渋滞情報や車ナビゲーションに、プローブ技術(個々の走行車両の位置データから道路の混雑・渋滞情報を生成する技術)をもとに独自に開発した「リアルタイム・プローブ交通情報」を4月25

日から取り入れます。「リアルタイム・プローブ交通情報」とは、タクシーや「全力案内！」利用者から収集した位置情報を使って即時に生成する交通情報です。タクシープローブデータの提供とその収集のための仕組みについては、タクシー会社とタクシー配車管理システム会社の協力を得ていきます。

<http://www.ubiqlink.co.jp/img/news/20080423.pdf>

4. イベント情報

●カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA

日時: 2008年5月30日(金) 10:00~17:00

場所: 横浜市開港記念会館 講堂

主催: カーフリーデージャパン

<http://www.geocities.jp/carfreedayjapan/asian-forum/top.html>

●カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)による課題別ワークショップ

日時: 2008年5月30日(金) 10:30~16:00

場所: ベルサール三田

主催: 環境省、社団法人海外環境協力センター カーボン・オフセットフォーラム事務局

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/080522a.html

●道路財源問題を考えるシンポジウム 市民が提案! 持続可能な交通と財政改革

日時: 2008年5月31日(土) 13:30~16:30

場所: 大阪市立弁天町市民学習センター

主催: 都市創生交通ネットワーク@関西(KOALA)

http://blogs.yahoo.co.jp/koala_lrt/37225894.html

●エコカーワールド 2008 in 横浜

日時: 2008年6月7日(土)12:00~17:00、6月8日(日)10:00~16:00

場所: 横浜 赤レンガ倉庫広場等

主催: 環境省、独立行政法人環境再生保全機構、横浜市

<http://www.erca.go.jp/ecocarworld/yokohama/>

●エコライフ・フェア 2008

日時: 2008年6月7日(土) 11:00~17:00、8日(日) 10:00~17:00

場所: 都立代々木公園ケヤキ並木、イベント広場

主催: エコライフ・フェア実行委員会

<http://ecolife2008.com/>

- 特別セミナー 中小企業のCO2削減と国内CDM制度について
日時:2008年6月18日(水)13:20-17:00(13:00受付開始)
会場:横浜市金沢振興センター サービスセンター大会議室
主催:東京環境取引所
http://www.jctx.jp/pdf/YokohamaKanazawa_080618.pdf

- 2008年度交通権学会研究大会
日時:2008年7月26日(土)、27日(日)
場所:熊本学園大学
主催:交通権学会
<http://blog.goo.ne.jp/westi1228/e/7bcc79d078806620c37acb5d35e865fc>

5. その他

- 「ESTデータベース」を拡充
ESTポータルサイトに掲載している「ESTデータベース」を拡充しましたので、是非ご利用下さい。
<http://www.estfukyu.jp/estdb1.html>

- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。
→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>